
Custom プレフィックス

Custom プレフィックスを有効/無効にする

custom プレフィックスを有効にすると、11 文字を超えることのできないユーザー定義プレフィックスをデータに追加することができます。



Custom プレフィックスの設定

custom プレフィックスを設定するには、custom プレフィックスの設定バーコードと希望のプレフィックスの 16 進数を表す数値バーコードをスキャンし、保存バーコードをスキャンします。文字の 16 進値については、付録の ASCII 表を参照してください。

注： custom プレフィックスは 11 文字を超えることはできません。

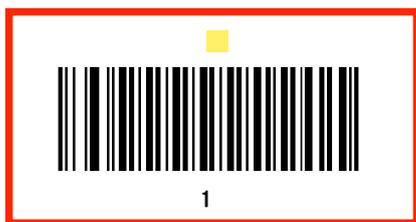


例：custom プレフィックスを「CODE」に設定する

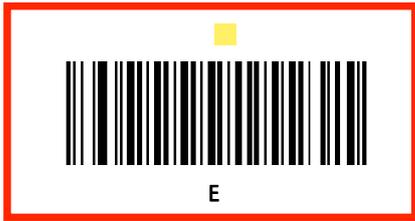
1. ASCII テーブルの「CODE」の 16 進値を確認します。（「CODE」：43, 4F、44, 45）
2. 「custom プレフィックスの設定」をスキャンします。
3. 付録の数字バーコードから数値バーコード「4」、「3」、「4」、「F」、「4」、「4」、「5」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードの保存/取り消し」の保存バーコードをスキャンします。

数字バーコード

0 ~ 9



A ~ F



E

バーコードの保存/取り消し

数字のバーコードを読み取ったら、保存するために保存バーコードをスキャンする必要があります。間違った数字をスキャンした場合は、取り消しバーコードをスキャンして設定をもう一度やり直するか、最後の数字を削除するバーコードをスキャンして正しい数字をスキャンするか、すべての数字を削除するバーコードをスキャンしてから任意の数字をスキャンします。

たとえば、「最大長の設定」バーコードと数字バーコード「1」、「2」、「3」を設定した場合、次のようにスキャンします。

- ◇ 最後の数字を削除する：最後の数字「3」が削除されます。
- ◇ すべての数字を削除する：すべての数字「123」が削除されます。
- ◇ 取り消し：最大長の設定は取り消されます。スキャナはまだセットアップモードになっています。



ASCII ファンクションキーマッピングテーブル

ASCII ファンクション	ASCII 値 (HEX)	ファンクションキーマッピングなし	ファンクションキーマッピング
NUL (Null char.)	00	Null	Ctrl+2
SOH (Start of Header)	01	Keypad Enter	Ctrl+A
STX (Start of Text)	02	Caps Lock	Ctrl+B
ETX (End of Text)	03	Null	Ctrl+C
EOT (End of Transmission)	04	Null	Ctrl+D
ENQ (Enquiry)	05	Null	Ctrl+E
ACK (Acknowledgment)	06	Null	Ctrl+F
BEL (Bell)	07	Enter	Ctrl+G
BS (Backspace)	08	Left Arrow	Ctrl+H
HT (Horizontal Tab)	09	Horizontal Tab	Ctrl+I
LF (Line Feed)	0A	Down Arrow	Ctrl+J
VT (Vertical Tab)	0B	Vertical Tab	Ctrl+K
FF (Form Feed)	0C	Delete	Ctrl+L
CR (Carriage Return)	0D	Enter	Ctrl+M
SO (Shift Out)	0E	Insert	Ctrl+N
SI (Shift In)	0F	Esc	Ctrl+O
DLE (Data Link Escape)	10	F11	Ctrl+P
DC1 (XON) (Device Control 1)	11	Home	Ctrl+Q
DC2 (Device Control 2)	12	Print Screen	Ctrl+R
DC3 (XOFF) (Device Control 3)	13	Backspace	Ctrl+S
DC4 (Device Control 4)	14	tab+shift	Ctrl+T
NAK (Negative Acknowledgment)	15	F12	Ctrl+U
SYN (Synchronous Idle)	16	F1	Ctrl+V
ETB (End of Trans. Block)	17	F2	Ctrl+W
CAN (Cancel)	18	F3	Ctrl+X
EM (End of Medium)	19	F4	Ctrl+Y
SUB (Substitute)	1A	F5	Ctrl+Z
ESC (Escape)	1B	F6	次の表を参照してください
FS (File Separator)	1C	F7	
GS (Group Separator)	1D	F8	
RS (Request to Send)	1E	F9	
US (Unit Separator)	1F	F10	

ASCII ファンクションキーマッピングテーブル (続き)